

早稲田佐賀校友会報

第1号

発行日
2017年12月1日

早稲田佐賀校友会

会長 坂田憲治



朝夕の寒さが身にしみる季節となりませんが、皆様におかれましては

はいかがお過ごしでしょうか。昨年度より校友会会長に就任させていただきました。1期生の坂田憲治と申します。日頃は早稲田佐賀校友会の活動にご理解ご協力を賜り厚くお礼を申し上げます。引き続き、ご支援ご協力をお願い申し上げます。

さて、早稲田佐賀校友会は早稲田佐賀高等学校と同高卒業生との関係を密にし、母校の発展に寄与するとともに、会員相互の親睦を図ることを目的に組織されています。この会則のもと、年に数回、校友会として活動を行っております。これまでの校友会の活動ですが、大学1年生向けの新入生歓迎パーティ・大学3年生向けの就職活動相談会・現役生徒への早稲田大学キャンパスツアーや講演会の実施・早稲田佐賀入試の手伝い(首都圏会場)・関東保護者会との交流会などを行ってきました。

今年度は野球部が創部初の甲子園に出場したことで、卒業生に甲子園での応援の案内や、関東の保護者会と協力して、チケットの配布を行いました。また、佐賀大会に応援に来てくれた在校生に熱中症対策としてスポーツドリンクの提供を行いました。今年は、野球部だけではなく、テニス部・弓道部・ボート部・吹奏楽部・放送部・囲碁部・将棋部が佐賀県大会予選を勝ち抜き、全国の舞台で活躍しました。そこで、

校友会から正門前に横断幕を作らせていただきました。私たちは各部の活躍を心より嬉しく思っており、引き続き在校生の支援・応援をしていきたいと思っております。

今後の活動に関してですが、各代で企画されている同窓会への支援や各部活動へのOB・OG会の設立の協力を考えています。さらに、在校生や卒業生の保護者の方との交流も活発に行いたいと思えます。校友会員の皆様の中で、「こんな企画をしたい」「新しく組織を作りたい」などがございましたらサポートさせていただきますので、お気軽にご連絡下さい。

最後になりますが、5期が卒業し、校友会の会員数も700名を超える組織となっております。校友会の代表として代議員や学年幹事の皆様と共に、日々、新たな形・より良い組織を作っていくかなければならないと考えております。ご多用とは存じますが、在校生の健やかな成長と母校の発展のためにも早稲田佐賀校友会の活動へのご協力を今後ともよろしくお願い致します。簡単ではございますが、ご挨拶とさせていただきます。

早稲田佐賀中学校高等学校

校長 宇高勝之



早稲田佐賀中学校、高等学校卒業生の皆さん、ご卒業後如何お過ごしでしょうか。皆さんそれぞれの道で健やかに頑張っておられることと拝察致します。本校校友会新聞発行に当

たり一言ご挨拶申し上げます。

本学は2010年に開校して以来7年が経過し、高校から入学したいいわゆる高入の第一期生のほとんどは大学を卒業して就職または大学院に進学し、そして中学から入学した中入の第一期生のほとんどは大学2年生として鋭意学んでくれていることと思えます。開校以来この唐津にある我が校に全国から集い、早稲田大学系属校として早稲田精神の元で学び、お互いに青春を語り切磋琢磨しあい、そしてそれぞれの高い目標を持って、これまでに746名の生徒が巣立ってくれました。学校として、また教科・部活・生徒のそれぞれの指導やお世話に当たった私たち教職員一同は、進学先がどの大学であれすべての卒業生の皆さんがそれぞれに幸せな道を歩んでくれることを常日頃から祈って止みません。

卒業生の皆さんは本校で学んだ誇りを共有し、お互いに親睦しあい、また後輩のためにも本校の今後の一層の発展を陰に陽に支えて下さる校友でもあります。そしてこのように着実に卒業生が増える中で、校友会の組織化や活動の活性化は懸案でもありました。これまでは皆さんはまだ学生であったため、まずは学業を優先して頂くこととして、限られた方に学校行事などのご協力を頂く程度でした。そして、第一期生が社会に出たこの時期に当たり、学校は校友会の組織化や活動の活性化を積極的に後押ししたいと考えております。その第一弾として、校友間の情報交換、そして校友と学校間の継続的な絆ともなる校友会新聞を発行する運びとなりました。

恐らく卒業生は、これまで個人レベルで同期や部活動の仲間などとも連絡を取り合っており、情報交換をしたり励ま

し合ったりしてきたことと思えます。早稲田佐賀祭などの学校行事にも、多くの卒業生が連絡を取り合っており、多く集まってくれました。先般の高校野球部甲子園出場に当たっても、多くの卒業生が予選から応援に駆けつけてくれました。他方、他の卒業生と連絡が取れずに寂しさを感じている方もいるかも知れません。これからは早稲田佐賀校友会が校友皆さんの絆の母体として活動し、やることを心より期待しております。

社会では今後一層人的ネットワークの重要性が増すことでしょう。勿論その人的ネットワークは早稲田佐賀関係者だけである必要はありませんが、これから益々増える校友の皆さんは早稲田佐賀で学んだという共通の思い出と誇りを持っています。その絆はきっと大きな精神的な拠り所となることでしょう。またそのためにも校友の皆さんには積極的に校友会の運営に関わって頂くことを期待しております。校友会は校友皆さんが運営する会です。会則にあるような種々の活動へのご参加をぜひお願いしたいと思います。またその運営や活動には費用も掛かりますので、校友会費の継続的なお支払いにもご理解を頂きますようお願い致します。

これまで校友会がほとんど組織されていない中で、初代会長の石黒元規さん、二代目で現会長の坂田憲治さんのご尽力には心から感謝申し上げます。この校友会新聞が、唐津を第二の故郷とする全ての校友皆さんや学校との絆となれば幸いです。一層の校友会の活動の活性化の一助となることを期待しております。早稲田佐賀校友会が継続的に発展していくことを祈念してご挨拶とさせていただきます。

収支決算書

2016年4月1日から2017年3月31日まで

収 入 (単位：円)			
科 目	予 算	決 算	差 異
終身会費 (20,000円)	4,000,000	3,300,000	-700,000
卒業記念品代	400,000	330,000	-70,000
受取利息	1,600	750	-850
収入合計	4,401,600	3,630,750	
支 出 (単位：円)			
科 目	予 算	決 算	差 異
消耗品費	10,000	0	-10,000
旅費交通費	150,000	220,320	70,320
通信運搬費	35,000	0	-35,000
印刷製本	150,000	0	-150,000
会議費	50,000	34,000	-16,000
行事費	50,000	0	-50,000
報酬・委託・手数料	10,000	1,728	-8,272
業務管理費	113,400	173,100	59,700
広告費	25,000	21,600	-3,400
卒業記念品代	636,000	680,000	44,000
教育活動支援費積立	200,000	200,000	0
周年行事費積立	200,000	200,000	0
支出合計	1,629,400	1,530,748	
当年度収入超過額	2,772,200	2,100,002	-672,198
支出合計	4,401,600	3,630,750	
前年度繰越収入超過額	9,507,165	10,190,307	683,142
翌年度繰越収入超過額	12,279,365	12,290,309	10,944

事業報告と計画

- 2016年度実績
- ・高校野球部の夏の大会 応援広告協賛
 - ・東京研修旅行時 キャンパスツアーの協力
 - ・中学・高校入試時の協力
 - ・校友会入会式実施
 - ・卒業式出席
 - ・2017年度実績と予定
 - ・高校野球部の夏の大会 応援広告協賛
 - ・全国大会出場部活の垂れ幕作成費用協力
 - ・佐賀大会ドリンク差し入れ
 - ・東京研修旅行時 キャンパスツアーの協力
 - ・中学・高校入試時の協力
 - ・校友会入会式実施
 - ・卒業式出席

お知らせ

卒業生からのメッセージを募集しています。近況報告など、メッセージをお寄せください。

お寄せいただいたメッセージの中から卒業生のコーナーを設けられるようにしたいと思っております。

また、皆様から新聞の企画を募集いたします。新聞で取り上げて欲しい企画がありましたら事務局までご連絡ください。

告知

ホームカミングデーについて
卒業して10年後にホームカミングデーを開催いたします。
学校を巣立って10年目の卒業生に開催案内を送付いたします。
開催内容は、未定ですが皆様の今までとこれからをぎゅっと閉じ込めた会になるよう準備してまいります。

つきましては、案内が届くよう連絡先に変更が生じた場合は、事務局までご連絡を賜りますようお願いいたします。

また、昨年度までは卒業後にご連絡先をメールでお知らせをいたただくようになっておりました。ただ、ご連絡をいただいていない方は、事務局までメールにてご連絡ください。

メールアドレス
QRコード



就職先調査を行っています。
卒業生の方で就職された方は、
[alumni@wasedasaga.jp]
までお知らせください。

今回の発行は、2018年12月頃
を予定しております。

役員紹介

会長 坂田 憲治
副会長 西田 理史
副会長 重松 諒
会 計 島林 秀枝
監 事 小泉 萌子
関東支部長 笹津 敏暉

代議員

一期生 石黒 元規
小泉 萌子
坂田 憲治
笹津 敏暉
島林 秀枝
西田 理史
二期生 内山 勇樹
重松 諒
原口 茉佑子
原田 安珠
山元 康平
三期生 秋元 理帆
田中 知里
友井 茉里奈
宮崎 研史郎
森田 漢
四期生 渡壁 早十
五期生 田中 悠之介

〒847-0016
佐賀県唐津市東城内7-11
学校法人大隈記念早稲田佐賀学園
早稲田佐賀中学校・高等学校内
早稲田佐賀校友会事務局
Tel: 0955-5819000
Mail: alumni@wasedasaga.jp